

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2020年1月1日 196号
世界平和地球村の建設と自然環境の保護

迎春
2020
令和2年



レダ基地第一ゲストハウスより望む、パラグアイ川本流(光る部分)と支流(手前)



新春のお慶びを申し上げます

昨年は会員の皆様初め、多くの方々のご支援ご協力の下、レダ開拓二十周年記念式典を盛大に行うことができました。心より御礼申し上げます。特に若き青年の報告は参加者一同に大きな希望を与えてくれました。

二〇二〇年、今年は新しい時代への新たな出発の年となるでしょう。我々が住むこの地球星は今大きな転機に差しかかっています。地球温暖化の流れを誰が止め、誰がこの豊かな大自然の恵みを守るのでしょうか？

パンタナールのあの美しい大自然の輝きは、永遠に輝き続けさせなければならぬでしょう。これが私たちが生き残る道であり、私たちに与えられたミッションではないでしょうか？それは正に創設者の願いであると思います。「自然と人間は、神様が創造された有機体であるという価値観を持たなければなりません」と語っておられます。

精誠を尽くした二十年の歩みを、次の世代に引き継ぎながら、我々の果たすべき地球環境を守りつつ、地域社会と国家の向上のために、今年も全力を尽くしましょう。

二〇二〇年 元旦

南北米福地開発協会
代表理事 中田欣宏



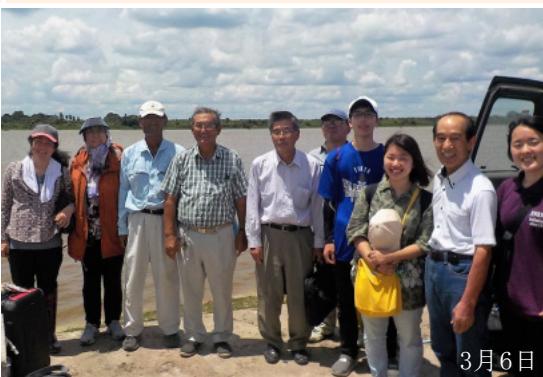
レダ基地の水辺に飛来する野鳥たち



1月11日
青年たちの歓迎と誕生祝いのケーキ。

1月13日
新牧場基地として整備されたプエルト・カナン。

1月11日
魚肉加工を説明する円香さん。



諏訪君と米田君が帰国途に。3月8日

3月6日
高橋さん, 上山父子, 鮮文大生3名, 吉村氏が到着。

高橋賢作氏がボートを修理。2月1日



GPA隊がタロイモ掘りを体験。3月13日

養殖池からパクーを取り出して。3月13日

チャーター船でGPA隊が到着。3月10日



5月10日
パクーやピラニア魚肉製品を説明する小橋氏

5月10日
放流するパクーを手に、オリンポ市の学生たち

5月5日
西山さんが釣った大物天然パクー



5月3日

鮮文大生3名が、アキダバン船内でパクー製品を販売。



5月10日

第7回パクー稚魚放流式にて、オリンポの学生、教師、レダのスタッフ、他



光ファイバーケーブルを敷設。8月3日



次々と到着する要員と来訪者たち。この日はRev. KimとRev. Soがレダ到着。7月27日



9月20日アキダバン出港



8月17日研修生が到着
1200kmを走破したバス。



公館の重い回廊を本格修理。9月中旬



第19回国際協力青年奉仕隊は総勢20名、うち5名が中長期ボランティア。9月3日到着。



10月25日

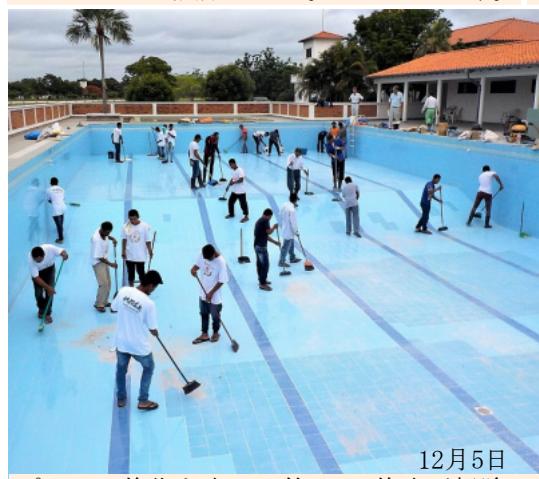
いつも地道な農業チーム。タロイモ洗浄。



10月22日設置完了

レダの規則を明示する看板。制限速度25km/h・ゴミ捨て禁止・禁酒・狩猟禁止。

10月19日製作中



12月5日

プールの修復を完了。第2回40修生が掃除。



資源ごみの仮置き場を新設。11月29日



11月28日

稚エビ育成の研究成果が着実に蓄積。

2019年レダ基地では

